

編集発行責任者 飯田 誠

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111(代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

INDEX

01. 診療科紹介(糖尿病・代謝・内分泌内科)
02. 脳神経外科 診療部長就任挨拶
03. 認知症について
04. 後払いクレジットサービス利用対象拡大のお知らせ

診療科紹介 [糖尿病・代謝・内分泌内科]

● 糖尿病の自己管理で大切な2つのこと

糖

糖尿病で大切なのは可能な限り合併症を防ぐことです。合併症には失明に関わる網膜症、透析に至る腎症、日常生活に影響を与える神経障害や足壊疽。更に脳梗塞や心筋梗塞、心不全などの動脈硬化に起因する血管障害は、たとえ命をつないでも後遺症に悩まされることがあります。こうした合併症を防ぐためHbA1cという血糖のコントロール指標を利用し、7%未満を目標に食事運動療法と薬物療法で管理します。

しかしながら、特に2型糖尿病の管理に必要なのは合併症を防ぐことだけではありません。大事なことがもう一つ、インスリン分泌という機能をできるだけ長く温存することです。血糖値を下げるインスリンというホルモンは人間の体の中で唯一、膵臓のベータ細胞から分泌されます。このベータ細胞の機能は永遠に維持されるものではありません。無理をすればベータ細胞が死んでしまいインスリンが出せなくなります。

インスリンの働きを守るため、ベータ細胞に無理させないために何ができるのか？ それにはまず生活習慣の振り返りが重要です。ウエストが大きくなる内臓脂肪肥満(メタボリックシンドローム)はインスリンの働きを邪魔するため、ベータ細胞は



無理してたくさんインスリンを分泌しようとしてしまいます。ですから減量、特にウエストをへこませるための努力が必要で、運動を併用した食事療法が大切です。食事療法には、エネルギー(カロリー)制限のほかに糖質制限、16時間ダイエットのようなファステイング、低GI(グリセミックインデックス)食などがあります。安全に行うためにも必ず主治医の先生と相談したうえで、自分にあった方法を選んで継続して取り組んでください。

次に糖尿病の薬ですがスルフォニル尿素薬はベータ細胞に無理させる働きがあるので、できるだけ避けたほうが良いでしょう。体重が減る可能性のある薬として最近、SGLT2阻害薬やGLP-1受容体作動薬という新薬が登場しています。前者は尿に糖を排泄することにより、後者は胃腸の動きを抑えることにより、減量を目標とした辛い食事療法をサポートしてくれる働きがあります。ですが薬には副作用があるので、病気のない肥満の方はもちろん、すべての糖尿病患者さんに使用できるわけではないことを知っておいてください。こうした薬の使用に関しても、必ず主治医の先生とよく相談するようにしてください。

糖尿病・代謝・内分泌内科 診療部長 横田 太持

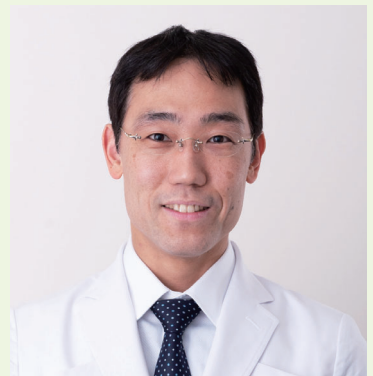
脳神経外科/診療部長就任挨拶

2024年7月に脳神経外科診療部長に就任しました森良介と申します。イタリア・ナポリへの留学をはさんで14年在籍していた本院では脳腫瘍治療を中心に診療を行なっていました。

脳腫瘍と一言でいっても、その種類は多岐にわたり、治療法も、手術(開頭手術や内視鏡手術)、薬物療法、放射線治療、さらにその組み合わせというように色々な選択肢がある時代になっています。葛飾医療センターでは、開頭手術はもとより、内視鏡を用いた侵襲の少ない治療も行なっており、患者さんの病状に応じて最善の治療を提供しております。

また、脳腫瘍の診断と治療は、多くの患者さん・ご家族にとって困難で不安な時期となると思います。そんな中で治療と同じくらい大切なこと、それは皆さんに安心と信頼を提供することだと考えています。病状や治療法などを納得いくまで説明し、小さな疑問や不安も解消した上で治療に臨むことを大切にしています。なんでも気軽にご相談ください。

脳神経外科は、脳腫瘍だけでなく、脳出血、脳梗塞などの脳血管障害の治療も行っています。脳梗塞急性期にはカテーテルで詰まった血栓を取り除く治療も可能となっており、従来に比べ、患者さんへの負担が少なく、また効果的なことが多いです。ただ、この治療は時間が勝負です。急に手足の麻痺や呂律障害などが出現したら、様子を見ることなくすぐに病院を受診しましょう。



脳神経外科診療部長
森 良介

また、脳出血治療においても、開頭ではなく内視鏡手術を導入することで負担の少ない治療が可能となっています。我々のもつ最新の技術と知識を駆使して最善の治療を提供してまいります。

ところで、シェアード・ディシジョン・メイキングという言葉をご存知ですか。これまでは医療者が情報を患者さんに伝え、患者さん自身が意思決定するインフォームドコンセントが行われていました。これに対し、医療者と情報を共有した上で、共に意思決定することをいいます。多様な治療法の選択肢があり、そのどれもが長所、短所をあわせもつ脳神経外科診療において、とても大切なことと思います。正解は一つではありません。共に考え、共に悩み、共に前に進んでいきましょう。

皆様のご期待に応えるために、全力で努めて参ります。どうぞよろしく願います。



認知症について

6月8日(土)、当院の講堂において地域の方々を対象とした公開セミナーを開催しました。当日の講演を動画で見ることができます。

●「認知症を知ろう ～認知症の予防と診断、最新の医療について～」

演者:東京慈恵会医科大学葛飾医療センター

脳神経内科 診療部長 大本 周作

https://movies.jikei.ac.jp/archives/video_post/video_post-329



●「認知症について ～認知症基本法と実践看護～」

演者:東京慈恵会医科大学葛飾医療センター

看護部 認知症看護認定看護師 石田 和代

https://movies.jikei.ac.jp/archives/video_post/video_post-331



後払いクレジットサービス利用対象拡大のお知らせ

当院では、会計待ち時間緩和を目的に、後払いクレジットサービス「待たずにラク〜だ」を導入しています。**2023年12月からは、入院診療費にもご利用できるよう対象拡大いたしました。**本サービスは、事前にクレジット情報等を登録することで、**当日は会計を待たずにご帰宅し、後日決済ができるサービス**です。(本サービスに対する手数料はございません)
また、登録後でも受診当日に現金でお支払いいただくことも可能ですので、是非ご利用ください。

待たずにラク〜だ ご利用手順



- 1

受付



※ご利用初回に事前登録が必要となります。
後払いクレジットサービス受付機で手続きすると「ご利用票」が発行されます。
〈外来〉「ご利用票」をブロック窓口にご提出ください。
〈入院〉「ご利用票」を病棟事務員にご提出ください。
- 2

診療



通常どおり、受診をしてください。
- 3

帰宅



会計せずにそのまま帰宅できます。
〈外来〉計算窓口またはブロック窓口に「ご利用票」と「ファイル」を提出ください。
〈入院〉会計窓口へ寄る必要はございません。
※入院期間が複数月となった場合は、月ごとに計算し、翌月10日頃の決済となります。

●後払いクレジットサービス受付機 / 取扱時間 月～土曜日 7:55～17:00

- ・当日登録の場合、利用開始まで15分前後の時間がかかります。
- ・診療受付は別途必要です。自動再来機で受付を行ってください。

●その他 / 一部でご利用いただけない場合がございます。

詳細は当院ホームページ内「後払いクレジットサービスのご案内」をご覧ください。

URL https://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/deferred_payment.html



東京慈恵会医科大学葛飾医療センター TEL:03-3603-2111 (代表)

(外来診療費:計算窓口) (入院診療費:各病棟事務員)

●受付時間:月～土曜日/9:00～17:00

※祝日、年末年始(12/29～1/3) 大学記念日(5/1・10月第2土曜日)を除く

ご不明な点は左記まで
お問い合わせください

